

# 愛知・名古屋 防災&ボランティアフォーラム2002

## 開催計画

### 1 趣 旨

今日、社会のあらゆる場面で様々なボランティア活動が広がっている。

大規模災害時の被災地でも、多くの防災ボランティアが全国各地から駆けつけ、応急対策・復旧を行い、被災者支援の大きな役割を果たしている。

昨年の東海豪雨災害を経験したことや、東海地震、東南海地震の発生が心配されており、県民の防災や防災ボランティアに関する意識をより深め、いざという時の災害に備え、防災とボランティア週間（1月15日から21日）にあたり、その普及・啓発事業を実施する。

### 2 主 催

愛知県・名古屋市・名古屋市社会福祉協議会・防災のための愛知県ボランティア連絡会  
（日本赤十字社愛知県支部、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、日本ボーイスカウト  
愛知連盟、社団法人ガールスカウト日本連盟愛知県支部、社団法人愛知青少年協会、  
愛知県青年団協議会、財団法人愛知県国際交流協会、震災から学ぶボランティアネ  
ッ トの会、名古屋YMCA、名古屋YWCA、社団法人日本アマチュア無線連盟愛  
知県 支部）

### 3 日 時

平成14年1月20日（日）10時から16時30分まで

### 4 場 所

名古屋国際会議場（レセプションホール他）  
名古屋市熱田区熱田西町1番1号

### 5 対 象

防災ボランティア及び一般県民

### 6 内 容（詳細は別紙）

- ・ 白鷗大学福岡政行教授による基調講演
- ・ 防災ボランティア活動のあり方について考える分科会  
広げよう！深めよう！支え合う地域の輪  
高齢者、障害者、外国人などへの対応は？  
機能するボランティアセンターとは？  
大地震！その時どうする？今からどうする？
- ・ 防災ボランティア及び一般県民との交流会

(別紙)

愛知・名古屋 防災&ボランティアフォーラム2002開催内容

1 講演(10時10分~12時00分)

「安心都市は可能か - 21世紀の街づくり - 」

白鷗大学教授 福岡政行

2 分科会(13時00分~15時00分)

分科会 - 広げよう! 深めよう! 支え合う地域の輪 -

私たちの町は私たちが守る。そのためには仲間が必要です。地域社会との連携や防災まちづくりについて、地域でのネットワークの事例を中心に議論を進めます。

コーディネーター: 鈴木盈宏(トヨタボランティアセンタースタッフリーダー)

パネリスト: 榊原安宏(半田災害支援ボランティアコーディネーターの会)

東嶋とも子(愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの

会)

牧野明広(西尾災害ボランティア会議)

分科会 - 高齢者、障害者、外国人などへの対応は? -

平成12年の東海豪雨で避難が遅れた方の多くは、子供、高齢者、体の不自由な方とその家族でした。また、災害時では日本の言葉、社会に不慣れな外国人も不自由を強いられることが考えられます。誰もが安心して生活できる社会をめざし、何ができるかを考えます。

コーディネーター: 瀧誠(同朋大学講師)

パネリスト: 石黒和子(新川町社会福祉協議会)

大川美知子(コンビニハウス)

丹下厚史(名古屋国際センター)

分科会 - 機能するボランティアセンターとは? -

ひとたび災害が起きれば、被災者のために全国各地から多くのボランティアが駆けつけます。被災者からのニーズとボランティアの熱意をどのように結びつけたらよいのか。そのために、今から何ができるのか。システムとしてのボランティアセンターについて考えます。

コーディネーター: 西田又紀二(震災から学ぶボランティアネットの会代表)

パネリスト: 石黒司(名古屋市社会福祉協議会)

金原建和(西尾市企画部企画課市民活動推進室)

鈴木一弘(名古屋YMCA)

分科会 - 大地震! そのときどうする? 今からどうする? -

東海地震や東南海地震などの発生が心配されています。いざというそのとき、どうすればよいのか、今からどうすればよいのか。大地震に備えたボランティア活動について、震災の体験に地震防災学の最新報告も交えて、議論を展開します。

コーディネーター: 武居信介(中京テレビ)

パネリスト: 谷口仁士(名古屋工業大学教授)

小野田全宏(静岡県ボランティア協会)

水戸川和正(広島RB)

3 交流会(15時20分~16時30分)

分科会の発表及び、参加者の自由な交流

